



After

家具類はそのままに、カーテンと照明を換えるだけで部屋のグレード感がアップした。カーテン上部に設けた、爽やかなストライプ柄のバランスがポイントとなっている。



Before



丸山さんが顧客への提案に使用するプレゼンボード。提案したいカーテンの生地やトリム、タッセルなど、イメージ素材をバランスよく貼り付ける。黒の厚紙を使用すると高級感が出る。

ちょっとした工夫で空間が格段にセンスアップする 窓のコーディネートLESSON

窓のコーディネート方法まで含めてプランニングすれば、部屋の印象がガラリと変わる。また施主にとってもリフォーム後のインテリアイメージが掴みやすい。窓コーディネートの一ポイントレッスンで、インテリアのコツを掴もう。

「躯体をいじらなくても、部屋の雰囲気やそこで暮らす方の気分をいかにようにも変えられる窓装飾はとても重要ですよ」と話すのは、カーテン・壁紙など、輸入物のインテリア商材を扱うデコラードの丸山千里店長だ。

「窓は室内の顔。一番大切な部分です。日本には、窓を飾る文化がまだまだ根付いていません。これまでに、カーテンを窓の目隠し程度と考えるのではなく、部屋の中に彩りを加えてくれる重要な要素として捉えましょう」

窓の装飾アイテムはいわば空間にとっての衣裳だ。季節毎にカラーや生地、地の素材を換えていくだけでも提案の幅はもっと広がる。

「レール一つにしても、ステンレスだけでなく、木製やアイアン製など素材も豊富です。建材の一部として捉えるのではなく、お施主様の好みや生活スタイルに合わせて検討しましょう。箱ありきで考えるのではなく、あらかじめ設計に落とし込むことが大切です」

カーテンやインテリアに関しては、施主にカタ



デコラード 重要部員 丸山千里店長

レールやタッセルから換えてみよう

3 バランスでゴージャスに



▲広めの部屋なら、カーテン上部にレールを覆うバランスを取り付けてゴージャス感を出すのもオススメ。ヨーロッパ調でエレガンスな雰囲気になる。写真はデザインカットされているため、より優雅な印象に。

1 レールの素材

▶アイアンレールはデザインはデザインによっても異なる雰囲気が出る。写真は全体的に可愛らしい雰囲気。南仏調にしたい場合にもオススメだ。ゴールドのレールはクラシックな雰囲気になる。



◀木製レールならば優しいナチュラルな雰囲気に。レールの取り付け方法で下地が必要になる幅が変わる。そのため、設計段階で検討しておく必要がある。

4 シェードと組み合わせる



▲大きい窓には通常のカーテンを、左側の小さい腰高窓には、ローマンシェードを取り付けている。アイアンレールを取り付け、シェードの上部を目隠しすることで可愛らしい雰囲気に仕上げています。

2 タッセルも多種多様



▶フリルが付いたタイプや、リボンタイプなど様々な種類がある。顧客の好みに合わせて提案しよう。

◀ふさタイプで大きめのタッセルは高級感が出る。